

「稲美町から世界へ」

いながき まさゆき
稲垣 雅之
(株)絆サンセリテ プロデューサー



住 所: 加古郡稲美町国岡3丁目31番地6
T E L: 090-1588-2918
営業内容: スポーツと健康と医療を中心に健康
に特化した衣食住環境

加古郡稲美町役場徒歩3分
にひとときわ目立つ健康志向の
お洒落なカフェと卓球場を2
月にオープン。

「ワンラブカフェ&ワンラ
ブ卓球場」を運営しています
稲垣雅之と申します。

私自身、現在京都に在住し
ていますが、縁あって加古郡
稲美町のオーナーと出会い、
お互いにやりたいことが同じ
であるなど意気投合し、事業
のお手伝いをする事になりました。週3〜4日ほど稲美
町に通って「ワンラブカフェ
&ワンラブ卓球場」の運営を
しています。

そもそも私の実家は、住宅

資材卸商を経営しており18年間、後継
者として働いてきました。売上は私が
入社したとき7億でしたが順調に売上
を伸ばし40億ほどの実績をあげてきま
した。

私が卓球をやっていたこともあって、
娘に卓球を勧め、娘がトップアスリー
トの道に進む決意をしたタイミングで
実家の会社を退社しました。

妻は大手広告会社や芸能プロダクシ
ョンで働いていた経験もあって、娘の
ために制作および食育事業の会社を立
ち上げ現在に至ります。

アスリートを対象に食育事業（気愛
めし）をやっている経験を活かし、食
を通して健康を意識しながらカフェの
展開もおこなっています。

ワンラブカフェでは健康食材を中心
に8種類から10種類のお惣菜をショ
ケースでご用意しています。

日本でもSDGsの意識が高まって
いますが、料理仕込みで使わない部分
を賄いで頂いたり、捨てる芋の皮をデ
ザートにしたりしています。

食品ロスは社会問題にもなっており、
食品を焼却処理する際に排出される
CO2が地球温暖化の要因となる温室
効果を助長します。つまり食品ロスが
増えることで、結果的に地球温暖化を
進行させているのです。

また私にとってのテーマは「健康第
一」です。「食べる」「適度な運動」

「睡眠」はとても重要だとももって
います。

私が経験してきた卓球は、今は医療
にも活かされ、障がいの方、運動不足
の人、認知症予防など「卓球マジック」
といわれるぐらい効果があります。

スポーツの力を世の中のお役に立て
て頂く様に導くことが、今後の人生に
必要だとももっています。

また、東京パラリンピックの卓球監
督を務めた方と2年前に知人の紹介で
出会い、SDGsや卓球普及などの考
え方などに共感し、稲美町のワンラブ
卓球場で共に社会貢献も含めて事業を
行っています。今では、障がいの奥深
さや福祉分野も知ることができ、とて
も勉強になっています。

スポーツの力が稲美町の活性化につ
ながっていくことはオーナーの想いで
もありません。東京パラリンピック旗手
を務めた選手や実業団選手などが全国
から強化練習の合宿拠点として集い、
地産地消の食材を堪能したり、長閑な
田園風景を満
喫しています。

この稲美町
から卓球の持
つ力と健康の
大切さを発信
できたらと
日々、頑張っ
ております。

